

## 2018年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 委員会活動方針・事業計画

- 委員会名：まちづくり委員会
- 担当副理事長名：牧田 芳明 (確認日 2017年11月02日)
- 委員長名：潮見 雅利 (作成日 2017年11月01日)
- 副委員長名：竹村 眞
- 委員名：大森 啓田、田中 健雄、永田 磨梨奈、松原 洋平、山上 亮
- 作成者名：潮見 雅利

### 1. 委員会活動方針

鎌倉のまちは、様々なメディアから発信される多くの情報によって「鎌倉＝観光都市」といった特定の側面がクローズアップされているため、まちを構成する他の側面に目が行き届きにくくなり、まちの発展を妨げてしまう要因になる恐れがあると考えます。よって、まちの発展のためには会員自身が鎌倉の風土を再認識し、広い視野を持って考える力を身に付けることで知識見識を深められる人材になることが必要です。そして、その人材が学び考えた結果得た自らの認識を発信することが、まちと人、人と人とが深く関わるきっかけを創り出す一助になると考えます。

本年度のまちづくり委員会では、はじめに、会員自身が鎌倉の風土を見つめ直すために、まちを構成する各地域の特徴について再認識する為の事業を行います。次に、広い視野を持って考えたまちに対する知識見識を発信することで、まちと人との関わりを深めるために、第50回慈善茶会を開催します。慈善茶会においては、茶道の精神である思いやりや感謝の心を持って茶会の場をより良いものとするために、お客様の立場に立った気配りやおもてなしの心を持ってお迎えすることで、多くのお客様との繋がりを強くする場を創ります。これにより、より一層まちから必要とされる事業となることを目指します。その後、第50回慈善茶会にご協力いただいた関係者の皆様に感謝し信頼を深めるとともに、50年もの永きに亘って慈善茶会を続けてこられたことに対する感謝の意を表し、今後の更なる発展の礎とするために、本事業の記念祝賀会を開催します。最後に、会員がまちの現状を再認識した上で、まちのことを深く知る事の出来る新たな側面を市民に発信し、まちと人との関わりを深めるきっかけを創るための事業を行います。

事業を通じて、会員自身がまちの姿を鎌倉の風土から学び、広い視野を持って考えることで、今年度当会議所のテーマである「真の社会人となろう」の実現に近付くことができます。そして、学び考えることで得られた自らの認識を市民に発信していくことにより、まちと人、人と人とが深く関わるきっかけを創り出すことができます。その結果、明るい豊かな社会の実現の一助になると確信します。

### 2. 委員会事業計画

- (I) まちの風土を見つめ直し再認識する為の事業の開催
  - (a) 内容：体験型事業の開催
  - (b) 時期：2018年 2月
  - (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
  - (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) 第50回慈善茶会の開催

- (a) 内 容：第50回慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2018年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、来訪JC、市民、学生、  
協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) 50年間のご協力に感謝し、今後の発展の礎とする為の事業の開催

- (a) 内 容：第50回慈善茶会の記念祝賀会の開催
- (b) 時 期：2018年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、来訪JC、  
協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅳ) まちと人との関わりを深めるきっかけとなる場を創る事業の開催

- (a) 内 容：市民参加の体験型事業の開催
- (b) 時 期：2018年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

**3. 共通実施事項**

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加